

第4回 ブリッジ研究会

ブリッジ 第4回研究会

働くための 緩和ケア

2018年 **8月19日** (日) 13:30~16:30

ウィングあいち1204 会議室

2016年2月に厚生労働省より「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が発表されました。今まで医療の側で議論されることの多かった「仕事と治療の両立」の問題は、実際に労働の現場でどのように治療と共にある労働者を受け入れるのかを検討するフェーズに移ってきたと言えます。つまり今こそ医療従事者と企業関係者が垣根を越えて情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することが求められているのです。

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、各領域をつなぐ場を設け、各回1テーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。4回目のテーマは「緩和ケア」です。診断時からの緩和ケアと言われながらも、なかなか理解が広がらない現状があります。でも、適切に心身の痛みやつらさを取り除くことは、就労だけに限らず、日常生活の質を向上させる大切な要素です。さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方策を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

- 対象 医療関係者・企業関係者・両立支援関係者
- 料金 ブリッジ会員：無料 非会員：2,000円
※当日の入会も可能です
- 定員 50名
- 申込 <http://kokucheese.com/event/index/519610/>
※ブリッジHPからもリンクします **仕事 治療 ブリッジ**
- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会、
(独)労働者健康安全機構 愛知産業保健総合支援センター

第4回

2018.08.19

緩和ケア

① 緩和ケアの基礎知識



下山 理史 しもやま さとふみ
愛知県がんセンター中央病院
・緩和ケアセンター センター長
・緩和ケア部 部長

【略歴】1997年3月 名古屋大学医学部 卒業
1997年5月 国立名古屋病院 研修医、その後、外科
2007年3月 名古屋大学大学院医学系研究科 修了
2007年4月 社会福祉法人聖霊谷聖霊病院
外科・化学療法科・緩和ケア科
2010年4月 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 外科
2012年7月 愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア部

【メッセージ】皆さんは緩和ケアにどんなイメージをお持ちですか？もしかしたら、私には関係ない、治療中止後に受ける医療・ケア、緩和ケア病棟やホスピスのこと、と思っている方も多いかも知れません。緩和ケアは病気の際に生じる苦痛を様々な方法で和らげることによりその人らしく生きることを支える医療です。治療を受けながら働く、治療後に働くことには、まだまだ様々な壁があります。今回は、その壁とどう向き合っていけばよいか、また壁を低くし、なくすにはどうするとよいのかを、皆さんと一緒に考えたいと思います。

② 緩和ケアで生活の質の向上を図る

③ グループディスカッション&全体共有

医療×労働Ⅱ職場の多様性の構築